

1. 審議の経過

区民会議アンケート、全体会、第一回企画部会で出された意見

これまでに出された意見の整理		方向性
①麻生区の魅力のPR・情報発信	ア. 麻生区の魅力PR委員会の具現化	○麻生区の魅力の発信について検討する。発信については、麻生区の魅力を横でつないだ形での発信。 ○第5期区民会議で検討された麻生区の魅力PR委員会の具現化し、麻生区の魅力を発信する。
	イ. 麻生区の魅力を横でつなぐ	
	ウ. 若い人が麻生区に住んでもらうためのPR、住みやすいことのPR	
	エ. 麻生区が芸術のまち（映画のまち）であることをPR	
②麻生区の農業	オ. 麻生区の芸術や農などのPRできる拠点（販売できるようなコミュニティカフェのようなもの）	○農業は、麻生区の重要な魅力として捉える。農業の魅力を広く知ってもらうための方法を検討する。
	ア. 麻生区の農業の魅力をもっと広く知ってもらうための情報発信	
	イ. 麻生区の農業の課題への対応	
③空き家の活用・空き家の状況把握	ウ. 農家の農業への意欲、モチベーション向上	○空き家問題については、空き家を審議テーマの主体とするのではなく、魅力PR委員会の中に織り込むこととする。
	ア. (多世代)コミュニティの場としての空き家の利用	
	イ. ボランティア団体の拠点・活動場所としての空き家の利用	
	ウ. 学生の居住のための空き家利用（麻生区は、6大学があるのに学生にとって家賃が高い）	

2. 麻生区の魅力とは

○まずは、麻生区の魅力についてワークショップ形式で検討し、下記のように整理した。

- 地場野菜、麻生区の特産品、里地里山・農地などの原風景が残存
- 市民活動が盛ん、元気なシニアが多い、安全・安心なまち
- 良質な住環境、子育てしやすい環境、良質な景観
- 都心へのアクセスが良い
- 芸術に触れあえるまち
- 大学が多く若者が多い
- 魅力的なお店が多い
- 等

○上記の魅力について、「麻生区として重点的に発信すべき魅力か」、「麻生区独自の魅力か」といった観点から整理し、「自然・農」、「芸術のまち」、「市民活動（市民活動が盛ん）」を中心に発信していくことが検討された。

3. 魅力発信の目的・対象

○子どもを含めた若い世代が、これからも麻生区に住み続けてほしいということから、「麻生区に住む子育て世帯を対象」とし、区の魅力を伝えることが検討された。

→子どもに伝われば、そのおじいちゃん、おばあちゃんにも伝わり、区民全体に広がることを期待できると考える。

→特に最近住みはじめた子育て世帯に注力して麻生区の魅力を伝える。

4. 審議テーマ

ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～

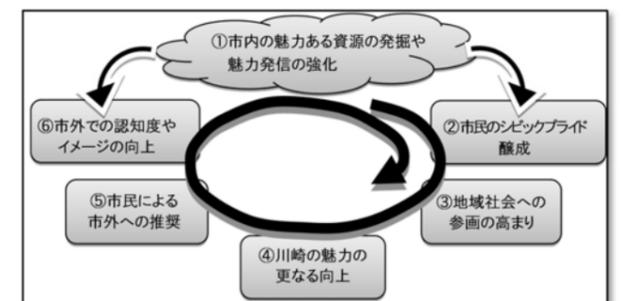
○区民に麻生区をもっと好きになってもらい、ふるさととしての魅力を感じてもらうことで、今後も住み続けてもらうことを目指す。特に新しく住みはじめた子育て世帯が、麻生区をふるさとと感じてもらい、その子どもたちが大きくなって住み続けてもらうことを目指す。

5. 今後の進め方

○「区民に麻生区を好きになってもらう」→「区民がまちづくりに参加する」→「麻生区の魅力のさらなる向上」→「区民による区外への推奨」→「区外での認知度やイメージの向上」のサイクルの仕組みを検討する。

○まずは、区民（主に子育て世帯）に麻生区に愛着を感じてもらえるような魅力の発信方法を検討する。

○合わせて麻生区の魅力を発信する主体（第5期提言の魅力PR委員会）の具体化を検討する。



※参考：H26年度策定 川崎市シティープロモーション戦略策定プランのサイクルの考え方